

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
登別東地区

令和8年3月

北海道登別市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	登別市観光交流センター(地域交流センター)利用者数	人/年	17,297人	18,500人	16,510人	確定 ●	×	あり ●	25,777人	R7年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	周辺の整備が完了したことなどもあり、公共施設の再編成により施設の利便性・満足度の向上が図られ、目標値の達成に至った。
指標2	歩行者通行量	人/日	745人	790人	828人	確定 ●	○	あり -		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	登別市観光交流センターの利用促進	集客数が大きいイベントや会議などの開催に対応するため、第2駐車場の整備により、駐車可能台数を増やした。	施設利用者数が増加している。	継続して利用が促進されるよう取組を進める。
	登別駅周辺の整備	登別駅新駅舎及びエレベーター等の供用が開始となった。	観光客を中心とした駅利用者の安全性や利便性が向上した。	周辺の整備を引き続き進める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	空き店舗等の解消	登別駅周辺で起業を前提とした取組を進める地域おこし協力隊を計画的に活用するほか、事業者の開業等に係る補助金の補助金額を嵩上げし、開業しやすい環境を整える。	R7年度において2名の地域おこし協力隊を配置し、空き店舗等を活用した起業に向け取組を進めている。	空き店舗は点在しているが、所有者が居住しており、活用に繋がらないケースが多く確認されていることから、活用に繋げる仕組みづくりが必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(第3回変更)

のほりべつひがし
登別東地区

ほっかいどう のほりべつ
北海道 登別市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

・様式は、A4印刷とすること。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【登別市観光交流センターを中核とした賑わいのあるまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別市観光交流センターの整備にあたり、老朽化や耐震安全性の不足、バリアフリー未対応等の課題を抱える当地区の既存公共施設を集約し、地域住民等施設利用者の安全安心の確保と利便性の向上を図るとともに、人口減少を見据えたコンパクトなまちづくりを推進する。 ・登別市観光交流センターには、当地区が持つ特性を生かし、観光客等に対する情報発信機能を設けることのほか、地域交流の場として、地区住民等が集い、楽しむことができるよう、サークル等の活動スペースはもとより、フリースペースやキッズコーナー等を備えることに加え、施設利用者が利用可能なWi-Fiを整備するなど、その内容を充実させ、利用者の利便性や満足度の向上を図る。 ・このほか、登別駅前には路線バスの停留所が設置されているものの、都市間高速バスは同駅からやや距離のある国道36号からのアクセスとなり、利便性が十分とは言えない状況にあることから、施設駐車場について交通結節点としての活用を図るため、バス事業者と協議を重ね、都市間高速バスの乗り入れが可能となるよう進めている。 ・これらを通じて、多くの人々が行き交う、賑わいあるまちづくりを進める。 <p>※登別市立地適正化計画において、登別駅前周辺を中心として都市機能を誘導することを掲げている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路：市道石山通り ・地域生活基盤施設：案内サイン ・高次都市施設：登別市観光交流センター ・地域創造支援事業：登別市観光交流センターWi-Fi、景勝地・イベント風景等ジオラマ ・関連事業：登別港町(登別市観光交流センター整備事業、登別駅前広場整備事業)、登別東町(地域医療機能推進機構JCHO登別病院整備事業)
<p>【登別駅周辺の一体的整備と地域創造によるまちの活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別観光の強みを生かし、登別駅周辺において、市道石山通りや登別ビーチパーク園路、案内サイン、登別市観光交流センターの整備といった基幹事業を一体的に進める。 ・登別市観光交流センターでは、観光インフォメーションにおいて、登別のまちの魅力をはじめ、飲食店やホテル・旅館、体験メニューなどの情報を発信するほか、手荷物預かり等を導入することにより、施設利用者を登別駅周辺の飲食店等に誘導し、地元商店会等の協力も得ながら賑わい創出を図る。 ・これらに加え、創業支援や商店街活性化支援などの取組を併せて進めることにより、まちの活性化を図る。 <p>※登別市立地適正化計画において、登別駅前周辺を中心として都市機能を誘導することを掲げている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路：市道石山通り ・公園：登別ビーチパーク園路 ・地域生活基盤施設：案内サイン ・高次都市施設：登別市観光交流センター ・地域創造支援事業：登別東町等(事業所開設費補助金、空き店舗活用事業補助金、商店街活性化支援事業補助金、店舗リフォーム補助金)、登別市観光交流センターWi-Fi、景勝地・イベント風景等ジオラマ ・関連事業：登別港町(登別市観光交流センター整備事業、登別駅前広場整備事業)、登別東町(地域医療機能推進機構JCHO登別病院整備事業)
その他	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別東地区に関する各種事業の実施にあたっては、地区住民等との意見交換により合意形成を図っている。 ・特に本整備計画の基幹となる登別市観光交流センターの整備にあたっては、登別商工会議所や登別国際観光コンベンション協会、登別温泉旅館組合のほか、地元商店会や町内会、まちづくり団体などで構成する登別地区観光まちづくり協議会を中心に複数回にわたり意見交換、協議を重ね、市はここで得られた意見等を事業に反映するよう努めている。 ・また、集約化の対象となる公共施設を現に利用している団体等に対しては、個別にヒアリングを行い、主にコミュニティ活動を行うにあたっての要望を聴取するとともに、将来を見据え、当該団体の活動を生かした中で、地区住民と観光客との交流が実現できるよう意見交換を行うなど、施設利用者・観光客双方の利便性や満足度の向上、地域の賑わいの創出につながるよう、地区との協働により事業推進を図っている。 <p>【アイヌ文化の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族共生象徴空間ウポポイは、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史・文化の理解促進や将来に向けてアイヌ文化を継承し、新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点として、白老町のポロト湖畔を中心に整備された。 ・白老町に隣接する本市では、これを契機として、国内からの来訪者だけでなく、外国人観光客の集客が期待できることから、多くの観光客が集積するJR登別駅周辺において、アイヌ文化に対する興味・関心を高め、民族共生象徴空間ウポポイへの訪問意欲を喚起するため、その案内機能を充実させ、拠点施設への誘客や拠点施設からの送客を図り、登別・白老地域の周遊拠点としての役割を担うこととしている。 	

<p>登別東地区(北海道登別市)</p>	<p>面積</p>	<p>48 ha</p>	<p>区域</p>	<p>登別市登別東町1丁目～5丁目及び登別港町1丁目の一部</p>
----------------------	-----------	--------------	-----------	-----------------------------------

